

令和6年度香美市子ども読書活動推進委員会 議事概要

日時 令和6年6月13日(木) 14:00～15:20
場所 香美市立図書館かみーる つながる一む

出席者
委員 井本三和、大井厚志、小松由香、近藤睦子、原由美、二宮景子

事務局 松岡 可奈(館長)、山重壮一(統括官)、土居正和

1. 委員長及び副委員長の選任

委員長 大井厚志委員、副委員長 原由美委員 に決定

2. 第四次香美市子ども読書活動推進計画の策定について

【事務局からの説明】

子ども読書活動推進計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、市町村による策定が努力義務とされている。香美市では、すでに第3次(令和2年度～令和6年度)まで計画された。令和6年度中に第4次(令和7年度～令和11年度)計画を策定する必要がある。

香美市子ども読書活動推進計画(第四次)の検討の進め方について

1 計画書の構成

- ・構成は第三次計画とほぼ同じとする。

2 進め方

①第1章計画の策定にあたって

- ・事務局で作成した文案を検討。ただし、大きな考え方ともかかわる部分なので、検討の結果によっては大きく内容を変える。

②第2章成果と課題

- ・第三次計画を参考に、担当ごとに分担して文案を作成していただく。

③第3章計画の基本的な考え方

- ・事務局で作成した文案を検討。ただし、大きな考え方ともかかわる部分なので、検討の結果によっては大きく内容を変える。

④第4章計画推進のための取り組み

- ・第三次計画を参考に、担当ごとに分担して文案を作成していただく。

⑤第5章計画推進に向けて

- ・事務局で作成した文案を検討。

3 討議

- ・文章の作成に終始してしまわないように、いくつかのポイントについては討議を行う。

4 子どもの意見のヒアリング

- ・子ども自身の意見をヒアリングすることも必要なので、「子ども司書」事業に参加する子どもの意見を聴く。

香美市子ども読書活動推進計画(第四次)素案

目次

第1章 第四次子ども読書活動推進計画の策定にあたって

- 1 計画の意義
- 2 読書活動推進にあたっての留意点
- 3 子どもの読書の現状
- 4 計画の位置付け

第2章 これまでの取り組み・成果と課題

- 1 家庭・地域における取り組み・成果と課題
- 2 幼稚園・保育園・学校における取り組み・成果と課題
 - (1) 幼稚園・保育園
 - (2) 小学校・中学校
- 3 図書館における取り組み・成果と課題

第3章 第四次計画の基本的な考え方

- 1 計画の目標
- 2 基本方針
- 3 計画の対象
- 4 計画の期間

第4章 第四次計画推進のための取り組み

- 1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進
- 2 幼稚園・保育園・学校における子どもの読書活動の推進
 - (1) 幼稚園・保育園における取り組み
 - (2) 学校における取り組み
- 3 図書館における子どもの読書活動の推進
- 4 普及啓発活動

第5章 計画の推進に向けて

- 1 総合的な取り組みに向けた関係機関との連携
- 2 効果的・効率的な計画の推進
- 3 財政上の措置

「香美市子ども読書活動推進計画(第四次)素案 第1章 子ども読書活動推進計画の策定にあたって」のポイント

1 計画の意義

読書は人生を豊かにする → 読書できる環境をととのえる

2 留意点

どういった読書をするかはその人の自由 → 強制的なことはしない

3 子どもの読書の現状

(1) 不読率

不読率 = 一か月に1冊も読まない人の率

大人の不読率は約50%

高校生も大人とほぼ同じ

学年が上がるにつれて不読率が上がる

(2) 読書に関心がない家庭環境の子ども

保護者が読書に関心がないと子どもも関心がない

保護者(大人)の読書活動推進も進めていく必要がある

4 計画の位置付け

(1) 第2次香美市振興計画後期基本計画

読書活動の推進を通じて、

学習意欲の向上

文化の伝承や創造

まちづくりの活性化などへの参画

(2) 第2期香美市教育振興基本計画

レファレンス・サービス(調べものや資料の案内・アドバイス)の向上

探究的な読書活動の推進

上記を実現する蔵書の充実

ボランティアや雑誌スポンサーなどの市民参加・参画の促進

委員からの質問	事務局の回答
・不読率はどのようにデータを取るのか。	・1ヶ月の間に全く本を読んでいない子どもの割合だが、小さい子どもは自分で回答が難しいのでデータが正しいかどうかはわからない。

【委員からの意見】

・外国籍の子供が読む本について触れたほうがよいのではないかと。

・子ども司書に話を聞くのは良いことだと思う。

・中高生が読書POPを作るのは良いことだと思う。

・学校の図書室に生徒が来てくれるし、学校での朝読の時間を取ってくれば冊数も読書時間も伸びる。

・保育園に読み聞かせに行っている時、園長先生に資料費の予算を聞いたら一人500円とのことだった。新しい本を買うための保育園の予算が厳しいのではないかと。予算についても盛り込んで欲しい。

・寄付をしていただいたので保育園では500円×園児数の資料費がある。

・美良布保育園の近くに図書館の香北分館があるので園児が本を借りて帰ったりしている。

・字が読める前の子どもへの読み聞かせが大事だと思う。目につくところに本があれば、園児が自分で選んで「先生、読んで」と持ってくる。

・小学校にボランティアさんが読み聞かせにきてくれたりするが、教員による読み聞かせはあまり無いのではないかと。

・家にどれくらい本があるかというアンケートでは、子供が家のどこに本があるかわからなかったりして、答えられないこともある。親が本を読んでいる姿をあまり見たことがないケースや電子書籍なども影響しているのかもしれない。

・家の中ということになると、各々の部屋にどのくらいの本があるのかまとまったら量がわからないのかもしれない。

・紙芝居についても言及してほしい。

・英語、アラビア語、中国語などのニーズはあるので多文化サービスについても触れてほしい。

3.その他

事務局からの連絡事項
香美市子ども読書活動推進計画(第3次)評価シートを作成し、送付するので記入の上、8月末までに事務局に提出をお願いしたい。現状の評価をし、成果が上がっていない部分については達成不可能なものを除き課題とする予定である。次回の開催は9月を予定している。